

安 全 の 手 引 き

2019年2月

在ナイジェリア日本大使館

安全の手引き

2019年2月
在ナイジェリア日本国大使館

1 序言

当地では、普段から殺人、武装強盗、強姦、誘拐等の凶悪犯罪の発生が多く認められ、在留邦人がこれらの犯罪に巻き込まれる事例も生じるなど一般治安が劣悪です。近年はイスラム過激派ボコ・ハラム等による襲撃や自爆攻撃を含む各種テロも頻発しており、2013年以降は北東部のボルノ・ヨベ・アダマワ3州に非常事態宣言が発令されています。

ブハリ政権は現在の政権下で、テログループが拠点を置く北東部において、軍・治安当局による掃討作戦を推進していますが、テロリストらがこれを避けるべく国内各地や周辺地域に拡散、潜伏する動向が認められています。2018年にはボルノ州・ヨベ州の軍施設に対する攻撃も発生するなど、当地でのテロの脅威は引き続き高いレベルで推移しています。

また、ミドル・ベルト（ナサラワ、ベヌエ、プラトー、タラバ各州等）を中心に、武装フラニ族遊牧民と農耕民との衝突が発生し、多数の死傷者が出ており、衝突が国内全域に広がりつつあります。

さらに、南部ではナイジャールデルタ地域の反政府武装組織や犯罪集団等による営利目的の誘拐が多発している上、北中部各州を中心に部族間、宗教間の対立に起因する襲撃や殺人事件が恒常的に発生しています。首都アブジャ近郊でも身代金目的の誘拐事件が多発しており、外国人も被害に見舞われています。

こうした当地の深刻な事案・テロ情勢を踏まえ、日本国外務省は、ナイジェリア全土に「レベル2：不要不急の渡航中止」、「レベル3：渡航中止勧告」、「レベル4：退避勧告」の各種危険情報を発出しています。

（注：当地の危険情報の詳細につきましては、海外安全ホームページをご参照ください。）

つきましては、当地で安全にお過ごしいただくために必要な防犯対策、テロ・誘拐対策、緊急時の行動等を以下のとおりまとめましたので、すでに実践されている内容も含まれているかもしれませんが、改めてご確認くださいませよう、お願い致します。なお、引用やナイジェリア側への言及部分に関するお取り扱いについては十分御留意ください。また、皆様方からの生活・治安全般に関する情報提供にご協力をいただけますよう宜しくお願い致します。

2 防犯の手引き

(1) 防犯の基本的な心構え

ア 「被害防止対策が最善」

イ 「自分と自分の家族の安全は自分で守る」

- ウ 「金を惜しまず命を惜しめ」強盗の狙いは車や現金，あなたの命ではない。
- エ 行動の3原則 「目立たない」「行動の非パターン化」「常時警戒」
- オ 常日頃から正確で有効な情報を収集し，邦人間での情報交換に努める。
- カ 緊急連絡先リストを整備し，外出時は携帯電話を忘れずに携帯する。

(2) 最近の犯罪発生状況

当国では経済的格差が拡大しており，特に低所得者の生活状況は厳しく，これらが武装強盗，誘拐等の凶悪犯罪が多発する要因となっています。誘拐事件の発生件数は数百から千件以上とも言われており，外国人の被害も多発しています。また，渋滞や信号待ちのため停車している車を狙ったスマッシュ&クラブが増加傾向にあります。

(3) 防犯のための具体的注意事項

ア 住居の安全対策 住居の安全性が安全対策の基盤であり，①住居の敷地境界線，②建物外周，③建物内部に3段階の防衛線を設け，各種の危険から防護することが望ましいです。

第1次防衛線

敷地内への不法な侵入を抑止することを目的とし，敷地内外を隔てるゲートや壁のことを指します。

- 外塀は高さや強度を確保し，外部から簡単に侵入できない構造，外部から内部を視認出来ない環境にする。
- 門扉周辺に照明があり，門扉内部から外の安全が確認できるようにする。
- 警備員任せにすることなく，来訪者のチェック，周辺の不審者・車両に注意する。
- 許可や登録されていない来訪者を警備員の判断で入場させないよう徹底する。
- 異常発生時の通報，警備員等の応援派遣システムを導入する。

第2次防衛線

建物内への侵入を防ぐための機能を果たすものです。

- 玄関出入り口扉の強度を高め2つ以上の錠前にドアチェーンを設置する。
- 訪問者の確認は玄関扉の覗き穴，インターホン等で行い，むやみに扉を開けない。
- 窓や他の出入り口は，侵入を防ぐため鉄格子等を設置する(緊急時脱出口も検討)。
- 夜間の訪問者には特に注意する。

第3次防衛線

建物内部の寝室等の最終的な避難場所を指します。

- 主寝室を避難室とすべく出入り口扉の強度を高める。
- 携帯電話等の外部との連絡手段や非常用の水や食料を備蓄する。

イ 車で移動するときの安全対策

- 事故防止，危険回避，緊急避難といった防衛運転を運転手に指導する。

- 運転手には、日常点検の励行・報告を徹底させる。
*粗悪なガソリンを給油しないようにも注意させる。
- 運転手には、車や乗車員に対する警備的役割を自覚させる。
- 運転手は基本的に車で待機させ、車を離れる場合も施錠を徹底させる。
- 乗降時は特に犯罪者から狙われやすいため、周囲の不審車両・人物に注意を払う。
- 原則後部座席に乗車し、ドアを施錠し、窓は閉めて、移動中も周囲に注意を払う。
また、走行中にスマートフォンを使用しない、外から見えやすい位置に荷物を置かないなど、ロープロファイルを心がける。
- 走行中は交通事情に応じた防衛運転に心がける。後方を含む周囲の不審な尾行車両がないか気を配りカージャック被害防止に努める。
- 常に運転手を使用し、夜間の外出時は複数台での移動を心がける。外出時は有事に備え、外出先や帰宅予定を家族や同僚に伝える。
- 昼夜を問わず、交通量の少ない場所、人目に付きにくい場所では武装強盗・誘拐に注意する。道路上に障害物を発見した場合も、武装犯によるトラップの可能性があるため、周囲を注視して不穏動向を察知すれば現場を離脱する。偽装検問にも注意を払う。
- 車を離れる際は現金や貴重品を放置せず、乗車中でも窓ガラスを叩き割る強盗手口に注意を払う。
- 走行中に故障が発生しても、走行可能な場合は、安全な場所まで移動する。
- 外出する際には、携帯電話（充電器）等の通信機器を常に携帯する。
- 地図や懐中電灯、同機能を有する携帯端末を装備しておく。
- 走行、停車中とも前方車両と車間距離をとり、緊急時に離脱できるよう努める。
- 強盗等に襲われた際には、ハンドルから手を離さず、犯人の指示に従う。

ウ 自宅等での生活における安全対策

- 訪問者への対応は、ドアを開ける前に身元を確認する。
- 工事業者は、ドア越しに用件・業者名を確認し、工事中は常に監視する。
- 心当たりのない着信には不要に個人情報伝えないよう注意する。
- 鍵全般の取扱いに注意する。入居時、または、紛失時にはできるだけ鍵を取り替える。合鍵作成には特に注意する。
- 休暇時には信頼できる知人や使用人に定期的に室内点検をさせる。
- 貴重品は分散保管する。
- 有事に備え、ある程度の現金を身近なところに保管しておき、万が一強盗が侵入してきた場合には、抵抗せずにこれを渡す。
- 使用人は、信頼できる人から紹介を受けるなど、身元が明らかな者を雇用する。信頼関係の構築は重要であるが無条件で信頼しないように注意する。
- 使用人に来訪者の対応要領や自宅・財産の保護といった安全意識を指導する。

- 使用人の犯罪を誘発する環境を作らないよう心がける。
- 使用人の言動・態度には日頃から注意を払い、円滑な意思疎通を図る。
- 家人の旅行・外出予定が使用人から第三者に漏れないよう指導する。
- 長期旅行等に出かける際には、直前に信頼のおける人物にのみ予定を伝え、防犯への協力を仰ぐ。不在中の現金・貴重品管理には特に注意する。

エ ホテルにおける注意事項

- チェックイン・チェックアウトの際、手続きに気をとられ、手荷物の置き引き被害に遭わないよう、注意する。
- 外出時には、貴重品はなるべく持ち歩くようにする。できない場合には、かならず施錠可能なセーフティボックスやスーツケース等に保管する。

オ 交通事情と事故対策

(ア) 交通事情，運転マナー

アブジャやラゴスは比較的道路が整備されてきていますが、郊外や地方都市では未舗装路が多く、特に雨期は道路事情が悪く渋滞も頻繁に発生します。また、当国では運転技術・マナーとも劣悪で、運転には細心の注意が必要です。

最近では政治的理由やストライキなどの理由から、ガソリンスタンドにおいて長蛇の給油待ちを強いられることが多く、できる限り頻繁にガソリンの補充を心がけることも緊急時に備えて重要です。

(イ) 交通違反及び交通事故

主要幹線道路の至る所で軍・警察による検問が行われており、中には、不当に金銭を要求されることがあり、外国人は特に注意が必要です。交通事故の際には、周囲に野次馬が集まり、車両や身体に危害を加えられる恐れがあること、また警察官も事故当事者の自国民の主張を優先的に聴取する傾向にあることから、安全を確保した上で、同僚や知人に即報して支援を求め、複数で対応することが重要です。

カ テロ・誘拐対策

(ア) テロ対策

- ・ テロに巻き込まれる可能性のある密集地等には近寄らない。
- ・ ソフトターゲットとなる外国人を含む不特定多数の人が集まる場所（公共施設、レストラン、ショッピングモール等）では、周囲の状況に常に注意する。
- ・ 報道や外務省海外安全ホームページ等を参照するなど情報収集に努める。
- ・ 日頃から常に警戒を怠らず、特に外出時は被害防止に努める。

(イ) 誘拐事件対策

当国では、首都アブジャ近郊や、アブジャとカドゥナ州等の地方主要都市を結ぶ幹線道路周辺、さらにテログループが拠点を置く北東部、南部デルタ地帯をはじめ国内全域において身代金目的の誘拐事件が多発しています。

- ・ 単独行動を避けるとともに、常に周囲の状況に注意しながら行動してください。

- ・ 毎日同じ行動(経路や時間帯)をとると、相手側に犯行に及びやすい場所で待ち伏せされるリスクが高まり危険です。行動パターンに変化を加えて下さい。
- ・ 派手な衣装、露出の多い服装、高価な装飾品やバッグ等を持ち歩くことは危険です。また、携帯電話で通話しながら徒歩で移動するなどは特に無防備です。

キ 緊急連絡先

警察, 消防, 救急車, 医者, 病院, 公安, 滞在許可, 観光局, 法律相談等

(ア) 警察署 : 199 (警察相談窓口 : 080-5700-0001~2)

(イ) 消防署 : 119

(ウ) 病院

a アブジャ

アブジャで最も診療レベル, 機材のレベルが高いと思われるのは NYZAMYE HOSPITAL です (以下 (e))。

(a) Zankli Medical Center (ザンクリ・メディカル・センター)

住所 : Plot 1021, B5, Shehu yar' Adua Way, OPP. Ministry of Works, Utako District

電話 : (09)-523-6854, 670-7273~5

URL : <http://www.zankli.com/>

概要 : 診療科目は一般内科, 産婦人科, 小児科, 皮膚科, 耳鼻科, 眼科, 歯科など多岐に渡ります。X線撮影装置, CT, マンモグラフィ, 超音波検査装置を備えます。特別室も備えています。マラリア検査は免疫抗原検査でも可能です。併設の薬局とともに 24 時間体制で救急患者にも対応しています。歯科は在留邦人にも好評です。

(b) St. Francois Medical Centre (サン・フランソワ・メディカル・センター)

住所 : Plot 501, Bangui Street, Wuse II, Abuja

電話 : (09)-461-8452

概要 : 手術室はありません。X線装置は古いですが血液検査の機器は新しく, 各種ワクチンも揃っています。入院ベッドは 3 床あります。

(c) Abuja Clinic (アブジャ・クリニック)

住所 : #22 Amazon Street, Maitama, Abuja

電話 : (09)-413-7020~6

URL : <http://www.abujaclinics.com/>

概要 : 私立の総合病院で料金は高めです。外交団が多く利用する病院です。デジタル X線装置, CT 装置や人工透析の設備 (3 台) あります。ベッドは 37 床ですが個室は少なくほとんどが 2 人部屋です。救急車と搬送車を備え, 救急車には AED も搭載しています。

(d) National Hospital (ナショナル・ホスピタル)

住所 : 132 Central Distrikt, Phase2, Garki District

電話：(09)-234-2686-89

URL：<http://www.nationalhospitalabuja.net/>

概要：国立総合病院。総合病院として歯科も含め一通りの診療科を備え、手術も積極的にを行っています。2014年8月に外傷センターを開設しました。患者数に比べてスタッフが不足しており、恒常的にストライキもありますので、軽傷の受診には向きません。

(e) NIZAMIYE HOSPITAL

住所：1 Pilot 113 Sector S. Cadastral Zone Life Camp. Abuja

電話：(09)-291-5173, (09)-291-5174, (09)-291-5175

URL：<http://nizamiyehospital.com.ng/wp-content/uploads/2017/01/Logo.png>

概要：2013年8月に開院した新しい病院です。設備も最新のものが揃っており、I C U・C T・MR Iも備えます。トルコ人医師が約10名在籍し、内科、外科、整形外科、脳外科、循環器科、心臓外科、眼科、耳鼻科、泌尿器科、歯科、麻酔科、放射線科を標榜しています。救急は24時間医師が待機しています。

(f) 空港クリニック：アブジャ国際空港にはクリニックはありません。

(g) Lagrent Dental Clinic(ラグレント・デンタル・クリニック)

住所：Floor 2, Transcorp Hilton Hotel, 1 Aguiyi Ironsi Street, Maitama, Abuja

電話：(09)-413-1811 内線 6817, ファックス：(09)-413-7899

URL：<http://www.smiledentalgrp.com/website/lagrent.html>

概要：ヒルトンホテル内の歯科医院です。小さな施設ですが設備は新しく清潔感があります。比較的高額です。

診療時間：月曜日—金曜日 午前9時～午後9時,

土曜日 午前9時30分～午後5時

(h) Ideal Dental Clinic(アイディーアル・デンタル・クリニック)

住所：Basement shop 1, Ceddi Plaza, Plot 264 Tafawa Balewa Way, Central Area, Abuja

電話：09-4611508, 0808-029-8682, 07088495218

URL：<http://www.idealdentalservices.com/>

概要：3人の歯科医師で経営しており、清潔感があります。

b ラゴス

医療環境は改善してきています。下記に示した以外にも医療機関は多数あり、欧米でトレーニングしたドクターも増えつつあります。

(a) St. Nicholas Hospital(セントニコラスホスピタル)

住所：57 Campbell St.

電話：(01)-260-0070～79

URL：<http://saintnicholashospital.com/>

概要：歴史のある病院です。75 床の一般内科，外科，産婦人科，小児科の総合病院ですが，小児科には常勤医がいません。夜間は常時 2 人の医師が勤務し 24 時間受診可能。CT，超音波，X 線検査が受けられます。生体腎移植の手術が行われています。

(b) Kamorass Specialist Clinics(カモラススペシャリストクリニック)

住所：238 Muri Okunola Street, Victoria Island

電話：(01)-261-2799

概要：英国でトレーニングしたドクターとナースが勤務していて，設備も整っています。英国，米国の在外公館館員が利用しています。

(c) Eko Hospital(エコー病院)

住所：1 Mobolaji Bank-Anthony Way, Ikeja

電話：(01)-497-8800～9

URL：http://www.ekohospitals.com/current_operations.html

概要：空港シェラトンホテルに近接。CT も装備しています。

(d) Reddington Hospital(レディントンホスピタル)

住所：12 Idowu Martins Street, Victoria Island, Lagos

電話：(01)-262-1234, 262-1244, 271-5340～9

URL：<http://www.reddingtonhospital.com/home.htm>

概要：2006 年 3 月に The Heritage Hospital & The Cardiac Center(ヘリテージ病院及び心臓センター)から総合病院となりました。外観と内装はきれいで清潔感があります。内科，外科，産婦人科，小児科，循環器科，整形外科，耳鼻咽喉科，眼科を標榜しています。(脳外科はない) 病室はほとんどが個室でテレビ，エアコン，バス付きです。病院専用の救急車がありますが 1 回の使用料は 1000 米ドル以上します。MRI，CT，マンモグラフィなどを備えます。

(e) Ave MARIA HOSPITAL(セント・マリア・ホスピタル)

住所：Plot 722A Adetokunbo Ademola Street, Victoria Island, Lagos

電話：(01)-461-7755, 461-7756

URL：なし

概要：ロシア人夫婦(夫が内科医，妻が小児科医)による経営で，1995 年末に開院し 1996 年 6 月に現在の場所に移転しました。24 時間体制で救急車もあります(ドライバー 2 名が交替で待機)。手術室が 1 室あり，産婦人科や外科の手術も可能ですが，手術に携わる医師は常勤ではありません。入院施設は 2 人部屋が 5 部屋あり，各部屋にトイレ・バスが付いています。各種予防接種も行っています。この病院は小規模ですが邦人の利用が多い病院です(基本的に内科系)。超音波等の医療機器は古めです。

(f) International SOS Clinic Lagos

住所：1 Thomson Avenue, Ikoyi, 1012331, Lagos

電話：(01)4613-608/609 緊急用：(01)-77-56080

URL：http://www.internationalsos.com/en/about-our-clinics_4011_3937.htm

概要：SOS インターナショナル直営クリニックです。長期滞在者の場合にはプリペイドプログラムに加入しなければ受診できません。旅行者の場合は、加入旅行保険によっては同クリニックと契約しており診察を受けられる時があります。

(g) Schubbs Dental Clinic(スカップス歯科医院)

住所：Ikoyi office：22B Milverton Rd Ikoyi (opp. St.Savior's School) Apapa office：5 Douala Road, Apapa

電話：Ikoyi office：(01)-461-5195 / 461-5196 / 472-4513

Apapa office：(01)472-8977 / 7739225 / (cell phone) 0803-334-6366

Dental Emergency consult：0803-322-8553 (cell phone)

URL：<http://schubbsdental.com/>

概要：清潔感があり、設備も整っています。

(エ) 移民局

a アブジャ

Nigeria Immigration Service, Headquarters, Sauka Village, along Airport Road

電話番号：(080)3317-6250

b ラゴス

Immigration Service, Lagos Command, Ministry of Internal Affairs
AlagbonClose, Ikoyi, Lagos.

電話：電話不通

(オ) 大使館

在ナイジェリア日本大使館(アブジャ)(ナイジェリア国番号：234)

電話番号：090-6000-9019/9099

(※不通の場合) 080-3629-0293 (緊急電話)

電子メール visanigeria@la.mofa.go.jp

3 在留邦人用緊急事態対処マニュアル

(1) 平素の準備と心構え

ア 在留届

当地に3か月以上滞在される方は、到着後遅滞なく在ナイジェリア日本国大使館に「在留届」を外務省ホームページのORRネットより登録してください。また、住所その他の届出事項に変更が生じたときまたはナイジェリアを退去(一時的な旅行を除く)する際は、必ずその旨を同ホームページのORRネットより変更してください。なお、ナイジェリアでは、56日以上滞在される場合は、到着後21日以内に居住地を管轄

する移民局事務所で外国人登録を行う必要があります。

「在留届」を提出することで、当館からの領事メールを受信することができ、安全にかかわる様々な情報を配信します。「在留届」が提出されていない場合、緊急事態が発生した際に当館から連絡を取ることができません。

イ 連絡体制の整備

携帯電話は複数通信会社の SIM を利用するなど、できるだけ多くの手段を確保してください。予め重要な連絡先等を登録し料金を常にチャージするなど、いつでも直ぐに利用できる状態にしてください。また、家族間、企業を含む所属組織・団体間で連絡先を常に把握するようにし、個人で滞在している場合には、知人・友人等と連絡先を共有し、緊急時の連絡が確実に行われるようにしてください。

ウ 退避場所

緊急事態が発生した場合、まずは、現在の居場所が安全かどうか、避難すべきかどうかを落ち着いて判断してください。

その際、不用意に屋外へ出ると危険ですので、インターネット、テレビ、ラジオ等を通じて被害状況等の情報を収集しながら、常に周囲の状況に注意を払うようにしてください。また、事案が発生した場所に興味本位で近づかないでください。

なお、当地の公共施設は安全が保障できないため、暴動等の緊急事態発生時には自宅や知人宅、セキュリティが高いホテル等に一時避難してください。

エ 携行品及び非常用物資の準備

(準備しておくべき品物等のチェックリストは次頁を御覧ください。)

不測の事態に備え、平素から食料、飲料水、医薬品、燃料等を備蓄しておくとともに、移動に不可欠な自動車の整備点検を心掛けてください。

日本旅券は、申請から交付まで1ヶ月程の時間がかかります。有効期限の1年前から更新が可能ですので、早目に更新するようにしましょう。

<緊急事態に備えてのチェックリスト>

1 旅券（パスポート）

- 所持している旅券は有効期限内であるか。
→有効期限の1年前から更新が可能。大使館で切替発給の手続きを。
- 旅券の最終ページの「所持人記載欄」に必要事項を記入しておく。血液型の記入も輸血が必要となった場合には役に立ちます。

2 現金及び貴重品（貴金属、クレジットカード等）

- ナイラ貨現金（家族全員が10日程度生活できる金額）
- 外貨現金（米ドル、ユーロ、日本円等）

3 自動車

- 常時整備・点検し、十分な燃料を確保する。
- 懐中電灯、地図（スマートフォン可）、ティッシュペーパー等

4 その他携行品

- 携帯電話及び充電器
- パソコン及び充電器
- 衣類、着替え、履物
- 洗面用具（タオル、歯磨きセット、石けん等）
- 非常用食糧等（缶詰類、インスタント食品、ミネラルウォーター等）
- 医薬品等
- ラジオ
- その他

→懐中電灯、ライター、ろうそく、マッチ、ナイフ、缶切り、紙製の食器、割り箸、防災頭巾（頭をカバーできるもの）、緊急連絡先リスト、地図等

(2) 緊急時の行動

ア 警察へ通報

通報体制のレベルは低く、緊急時に警察に電話が繋がらない、更には対応が得られない可能性が十分にあります。また、警察側の移動手段が慢性的に不足しており、迅速な現場臨場は期待できず、信頼性が高いとは言えません。

なお、当国の警察は、自動小銃等で武装し、一般人に対して威圧的な態度を取る者、中には、賄賂を要求する者もいるため、慎重かつ冷静に対応してください。

強盗、カージャック等の犯人は集団で犯行を行い、自動小銃、拳銃、ナタ等で武装している場合が多く、被害に遭遇した際は、逃げるができる場合を除き、決して抵抗しないことが重要です。犯人は容赦なく被害者の生命・身体に危害を加えます。

イ 知人・大使館への連絡

被害直後は、冷静な判断を欠く場合があるため、まずは知人や大使館に連絡して支援や助言を求めて下さい。

4 結語

本安全の手引きは、あくまで基本的な注意事項を列記したものです。安全な滞在を確保するためには常時警戒と有事の際の備えが必要不可欠です。万が一の不測の事態に備え、本安全の手引きを参考に、常に取り得る限りの安全対策を講じていただく必要があります。

ナイジェリアは、凶悪犯罪が多く発生し、一般治安が劣悪で、また、北東部等ではテロが頻発する等、極めて深刻な状況です。また、ナイジェリアにおいては、治安や教育などの社会、制度、インフラ等のさまざまな面において、その信頼性は日本よりも著しく低く、あらゆるところに多くの危険が存在します。親切を装って日本人に近づいては、金品を無心したり犯罪を企図しようとする人間が多いのも事実です。よって、身の安全を確保するためには、無条件で人を信用することなく、相手と適切なコミュニケーションを図り、信頼できる人物か否かを慎重に見極めることが重要です。また、強盗・誘拐被害を避けるためには、徒歩や単独での外出は極力控え、周囲に目立つようなかたちで無防備に所持品を持ち歩かないように心がけるなど、常に高い危機管理意識が必要です。

被害に遭ってからでは手遅れですので、ご不明な点や不安に感じられることなどがございましたら、前もって当館までご相談ください。